



童話の里

議会だより

第126号

2017

11.15

# 玖珠



## 第78回 大分県畜産共進会へ出品

10月14日に別府公園にて開催され、  
玖珠美山高校「チーム畜産」の  
「わかな28」和牛が優秀賞に  
輝く！

### もくじ

9月議会で決まったこと	2 P
決算特別委員会報告	4 P
委員会報告	6 P
特別委員会報告	9 P
委員会修正案	11 P
一般質問	12 P
U・I・Jターン者の声	14 P

● 発行／大分県玖珠町議会 ● 編集／議会広報特別委員会 ● 印刷／くす印刷センター

# 9月議会で決まったこと

会期：9月4日～9月26日

議案 30件

(全)：全員賛成

案 件 名	結果	頁
専決処分の承認を求めることについて（その10） 玖珠町税特別措置条例の一部改正について	全 承認	—
玖珠町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	全 可決	P 6
玖珠町介護保険条例の一部改正について	全 可決	P 6
玖珠町地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例の一部改正について	全 可決	P 6
平成29年度特定防衛施設周辺整備調整交付金事業小型動力ポンプ付積載車購入契約について	全 可決	—
平成29年度特定防衛施設周辺整備調整交付金事業ごみ収集車購入契約について	全 可決	—
平成29年度鳥獣被害防止総合対策（鳥獣被害防止総合支援事業）鉄線柵購入契約について	全 可決	—
平成29年度鳥獣被害防止総合対策（鳥獣被害防止総合支援事業）電気柵5段張り購入契約について	全 可決	—
平成29年度（28線）鳥獣被害防止総合支援事業（中山間地域所得向上支援事業分）鉄線柵購入契約について	全 可決	—
くす星翔中学校建設事業開発造成工事の請負契約の変更について	全 可決	P 6
町道路線の廃止について（大隈住宅線）	全 可決	P 8
町道路線の認定について（大隈住宅線）	全 可決	P 8
町道路線の認定について（大隈小坪線）	全 可決	P 8
平成29年度玖珠町一般会計補正予算（第3号）に対する修正案	全 可決	P 11
平成29年度玖珠町一般会計補正予算（第3号）に対する修正部分を除く原案	全 可決	P 7
平成29年度玖珠町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	全 可決	P 7

平成29年度玖珠町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	全	可決	P 7
平成29年度玖珠町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	全	可決	P 7
平成29年度玖珠町水道事業会計補正予算（第1号）	全	可決	P 8
平成28年度玖珠町一般会計歳入歳出決算の認定について	全	認定	P 4
平成28年度玖珠町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全	認定	P 4
平成28年度玖珠町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	全	認定	P 4
平成28年度玖珠町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全	認定	P 4
平成28年度玖珠町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全	認定	P 4
平成28年度玖珠町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全	認定	P 4
平成28年度玖珠町水道事業会計歳入歳出決算の認定について	全	認定	P 4
玖珠町教育委員会委員の任命について 日隈 敏子氏	全	同意	—
くす星翔中学校建設事業電気設備工事の請負契約について	全	可決	—
くす星翔中学校建設事業機械設備工事の請負契約について	全	可決	—

## 諮問 1件

諮問の要旨	結果	頁
人権擁護委員候補者の推薦について 帆足 一大氏	全 適任	—

## 意見書 1件

件名	結果	頁
「全国森林環境税」の創設に関する意見書	全 可決	—



# 平成28年度歳入歳出決算

決算  
報告

## 一般会計

歳入 92億9880万円  
歳出 87億8286万円  
残額 5億1594万円

## 特別会計

歳入 50億5308万円  
歳出 49億7495万円  
残額 7813万円

決算特別委員会

財政健全化判断比率

年度	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費率	将来負担比率
24年度	△6.57%	△13.09%	6.4%	△54.6%
25年度	△5.60%	△11.44%	5.8%	△55.8%
26年度	△7.52%	△13.54%	5.0%	△50.1%
27年度	△6.63%	△11.77%	4.0%	△56.2%
28年度	△7.45%	△14.31%	3.2%	△59.8%
早期健全化基準	15%	20%	25%	350%

※△は負の値であり基準値を下回っているため良好です。

### 【監査委員の意見】

平成28年度決算では、経常収支比率は89.5%（前年度89.8%）と前年よりも改善しています。引き続き国の動向を注視し、自主財源の確保と経常経費削減に向けた取り組みを行う必要があります。

平成28年度玖珠町財政健全化審査の結果は、いずれの比率も早期健全化基準を下回っており良好ですが、今後とも各施設や道路の維持管理費等を注視し、財政の健全性の確保、地方債の発行管理に留意しながら、住民ニーズの把握に努め、福祉の向上のためいっそう努力をされるよう要望します。

滞納整理の差押え件数については、平成27年度の441件に対し、平成28年度は110件増加しています。大分県及び九重町との徴収連携等の取組によって徴収率は改善され、滞納繰越額も前年度に比べ約2000万円減少しています。

特別会計については、黒字決算をなしえたことは評価できますが、国民健康保険事業特別会計については実質収支が再び赤字に転じないよう留意する必要があります。

以上の状況を踏まえたうえで、第5次総合計画にある効率的・効果的な行財政基盤の構築に向けた新たな行財政改革プランの策定を切望し、まとめとします。

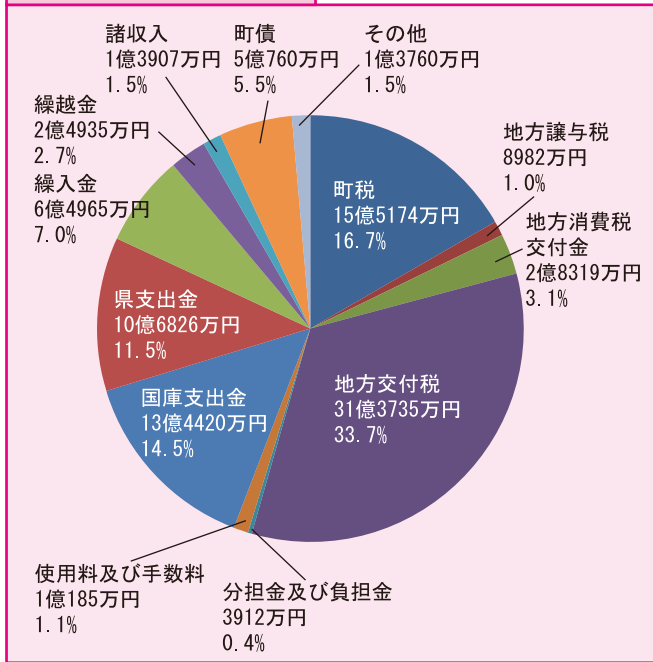
平成29年第5回玖珠町議会定例会において、決算特別委員会に審査の付託を受けました平成28年度一般会計並びに各特別会計、水道事業会計の決算認定案件7件について、9月6日審査した結果を報告します。

**決算剰余金のうち一億八六四〇万円は、新中学校開校に向けた財源確保のため、次世代教育環境整備基金へ積み立てられます。**

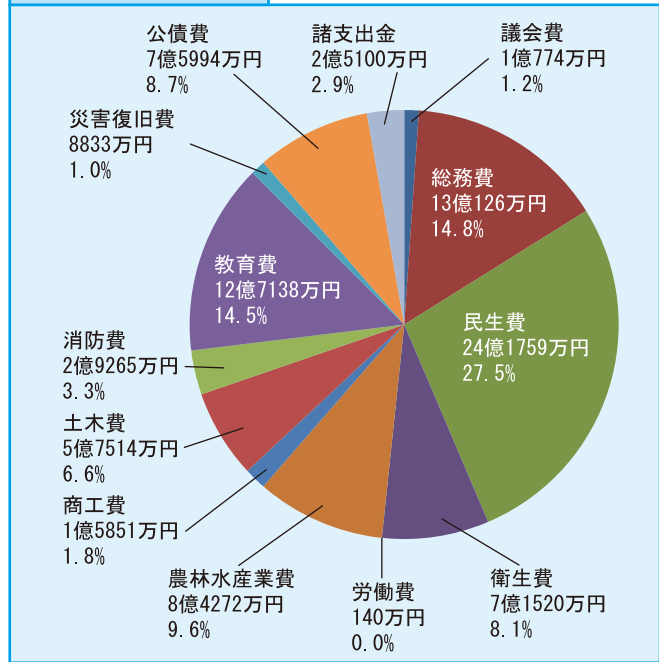


# 目的別歳入・歳出決算の状況

歳入（入ってきたお金）  
総額92億9880万円



歳出（使ったお金）  
総額87億8286万円



**【主な質疑】**

<p>問 地域おこし協力隊を平成28年度に5名採用しているが、定住に向けた支援は実施しているのか。</p> <p>答 現在道の駅、農林業振興課による農業指導や農家での研修に取り組んでおり、今年4月「地域おこし協力隊起業支援補助金交付要綱」を策定し、協力隊の起業を支援していきます。</p> <p>問 公営塾の受講状況を伺う。</p> <p>答 公営塾は現在1年生53名、2年生55名、3年生35名の計143名が受講しています。</p> <p>問 北山田自治会館建設事業費九百三十八万五千二百円の用地測量はどこを測量したのか。また北山田中学校跡地に自治会館を設置する計画に変更はないか。</p> <p>答 測量場所は北山田中学校です。測量結果を持って関係機関と協議した結果、都市計画法の開</p>	<p>問 発行為に当たるとの判断でした。それに伴い工事費として七千万円が必要となるため、現在、北山田自治会館の設置場所については将来を見据え、ゼロベースで検討しています。</p> <p>問 北山田簡易水道は上水道へ統合したのか。</p> <p>答 平成29年4月から上水道の給水区域に入りました。</p> <p>問 簡易水道が上水道に統合されたが、今後一般会計からの繰り入れが必要ではないのか。</p> <p>答 資産の老朽化等が考えられるため、アセットマネジメント計画を作る過程で検討を行っていきます。</p> <p>問 決算は事業と金額の合理性の審査は当然ですが、次年度への始まりであるため、分析や総括を行い次年度へ活かすことは必要でないか。</p> <p>答 現時点では行っていませんが、手順や組織の活用についても検討して総括、分析に努めます。</p>
---	---

## 平成28年度歳入歳出総計決算額

各会計別	収入済額	支出済額	残額	議決状況
一般会計	92億9880万円	87億8286万円	5億1594万円	全会一致で認定
住宅新築資金等貸付事業特別会計	17万円	17万円	0円	全会一致で認定
簡易水道特別会計	1億1877万円	1億1032万円	845万円	全会一致で認定
国民健康保険事業特別会計	27億535万円	26億9222万円	1313万円	全会一致で認定
介護保険事業特別会計	20億3026万円	19億7511万円	5515万円	全会一致で認定
後期高齢者医療事業特別会計	1億9853万円	1億9713万円	140万円	全会一致で認定

会計名	事業収益	事業費用	残額	議決状況
水道事業会計	2億1604万円	1億7944万円	3660万円	全会一致で認定

# 委員会報告

総務文教民生

平成29年第5回玖珠町議会定例会において、総務文教民生常任委員会に審査の付託を受けました議案8件について、9月19日審査した結果を報告します。

## 玖珠町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

本案は、玖珠町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正が必要なため、提出するものです。

### 【改正内容】

- ①保育所の保育室を2階以上に設ける場合は、避難用の屋内階段等を設置すること、また、4階以上に設ける場合は階段に排煙室を設けること。
  - ②職員要件として保健師・看護師に準看護師を加えるものです。
- 「全員賛成」



## 玖珠町介護保険条例の一部改正

本案は、介護保険法第202条1項の規定による文書等の提出命令に従わず、当該職員の質問に対して虚偽の答弁をした場合の罰則対象が、今まで第1号被保険者となっていたが、2号被保険者を含める改正です。

### 「全員賛成」

## 玖珠町地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例の一部改正

本案は、介護保険法施行規則の一部を改正する省令の施行により、玖珠町地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例の改正が必要なため、提出するものです。

### 「全員賛成」

## くす星翔中学校建設事業開発造成工事の請負契約の変更

本案は、くす星翔中学校建設事業開発造成工事の設計変更に伴い、契約金額を変更する必要があるため、提出するものです。

### 【変更理由】

敷地の開発造成工事の過程において、掘削による残土処分距離の延伸、各主要壁工事にかかる地盤補強の必要性が生じたため提出するものです。

### 【契約金額】

- ・変更前  
一億六千六百九十九万五千二百八十円
- ・変更後  
一億三千二百六十九万五千二百八十円

### 「質疑応答」

問 地盤の高さを低くするため残土処分が5700m<sup>3</sup>発生しているが、詳細を伺う。

答 以前、武道場及び体育館のあった場所となりますが、グラウンドと比較して地盤が高いため、バリアフリー対応を考慮し1階からアクセスできるように地盤を低くすることにより大量の残土が発生している状況です。

### 「全員賛成」



災害復旧事業費を重点に  
補正予算4億8016万6千円を審査

平成29年度玖珠町一般会計補正予算

本案は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四億八千六十六万六千円を追加するものです。

【補正の主な内容】

- ・九州北部豪雨に伴う災害復旧事業費
- ・ふるさと融資の繰上償還に伴う公債費
- ・その他まちづくりを推進するための事業費

【質疑応答】

問 認定ことも園整備事業補助金についての要望を全て網羅できているのか。

答 カトリック玖珠幼稚園からフェンス、くすのきこども園から防犯カメラ、たかすこども園から防犯カメラの要望があり、すべて予算化できています。

問 医療費を上げないために、シエネリック医薬品の利用推進を要望してきているが、使用を勧めるための対策をとっているのか。

答 数種類の医薬品について、シエネリックを利用して

ますが、医師に診療業務を委託していることから、医薬品の使用については医師の意向等も尊重しなければならぬと考えています。

問

「あそ1962」の設計費が二百四万二千円計上されていますが、列車はアスベストを含んでいるが、アスベストがあると解っていないから公共施設として使っているのか、行政としてどの様に考えているのか。

答

公共施設にアスベストを含んでいる場合、行政として責任を持つ必要があると考えています。

問

玖珠工業団地の造成に伴い立地企業が使用する上水道施設的设计委託料は20ha全体を対象にしているのか。

問

20ha全てが対象になります。地方創生推進交付金事業について、今後の運営や、九重町との連携をどのように

行っていくのか伺う。

答

公営塾の運営方針については、来年度までしか運営費の補助が出ない見込みとなつているため、このままいくと平成31年度以降は補助金なしの状況になる恐れがあります。

原案に対し委員より修正案が提出されました。

詳しくは11ページ参照

修正案に「全員賛成」

平成29年度玖珠町国民健康保険事業特別会計補正予算

本案は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ一千三百二十万二千円を追加するものです。

【補正の主な内容】

- ・広域化に伴う電算システムの改修費
- ・前期高齢者交付金の増額

【質疑応答】

問 来年の4月から県下統一されるが、これからの運営をどの様に行うのか。

答 平成30年から県に運営が移行されることで、県が定める納付金と税率に対し各市町村が判断していくこととなります。

【全員賛成】

平成29年度玖珠町介護保険事業特別会計補正予算

本案は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ五千六百二十一万九千円を追加するものです。

【全員賛成】

平成29年度玖珠町後期高齢者医療事業特別会計補正予算

本案は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ二万円を追加するものです。

【全員賛成】



# 委員会報告

## 産業建設 まちづくり

平成29年第5回玖珠町議会定例会において、産業建設まちづくり常任委員会に審査の付託を受けました議案4件について、9月19日審査した結果を報告します。

### 町道路線の廃止（大隈住宅線）

本案は、既存の町道を延長するため終点が変わるので、手続き上、一旦同道路を廃止するものです。

【全員賛成】

### 町道路線の認定（大隈小坪線）

本案は、生活用道路として、都市計画法により開発行為において設置された道路、公園の公共施設を町の管理とするものです。

### 【質疑応答】

問 緑地は公園とするのか。

答 都市計画法において3,000㎡以上の開発には、3%の公園

緑地が必要となります。緑地は

公園として管理します。

問 防火水槽は、町か、開発業者の

どちらが設置したのか。

答 開発行為を行う上で、消火栓か

防火水槽の設置が消防法で義務

付けられています。今回は防火

水槽の設置を開発業者がおこな

いました。

【全員賛成】



### 玖珠町水道事業会計補正予算（第1号）

本案は、水道室の新設及び職員の異動に伴う職員給与の増額に伴う補正予算です。

【全員賛成】

# 別会告 委員報 特委報

## 基地対策

平成29年第3回玖珠町議会定例会において、基地対策特別委員会に閉会中の継続審査の付託を受けた件について、その結果を報告します。

8月28日、執行部出席のもと委員会を開催しました。

### 一、基地対策特別委員会と日出生地区自治委員との意見交換会

6月14日、日出生南部地区コミュニティセンターにおいて、執行部・基地対策特別委員会委員と日出生地区自治委員で意見交換会を行いました。出された意見や要望については、防衛省等への要望書に反映させることとしました。



### 二、九州防衛局並びに西部方面総監部への要望

7月3日、九州防衛局、西部方面総監部へ陳情に行き、日出生台演習場に係る地元住民の要望を伝えました。

主な内容として、「基地周辺対策経費の充実強化、町道・県道の粉塵等の対策、移転補償の充実強化、演習場の米軍使用について、車谷く小河内線の代替え路線の整備について、ヘリコプターや戦車等の騒音について、鳥獣害対策について」等の要望をいたしました。

### 三、防衛省への町および議会による合同陳情

7月18日、町長、正副議長、正副委員長で東京市ヶ谷の防衛省を訪問し、防衛大臣政務官、陸上幕僚副長及び地方協力局長に要望書を提出しました。



委員会としては、基地問題の対応について執行部と共に、問題解決に向けて努力することを確認し、本委員会は引き続き継続調査とすることに決しました。

# 別会告 特委員報

## 議会改革

平成29年第3回玖珠町議会議定例会において、議会改革特別委員会に閉会中の継続審査の付託を受けた件について、その結果を報告します。

## 議会広報

平成29年第3回玖珠町議会議定例会において、議会広報特別委員会の所掌事務について、閉会中の継続調査としました議会議だよりの発行等について、その結果を報告します。

### 議会の役割について検討

「平成29年7月10日」

#### 第3回議会改革特別委員会

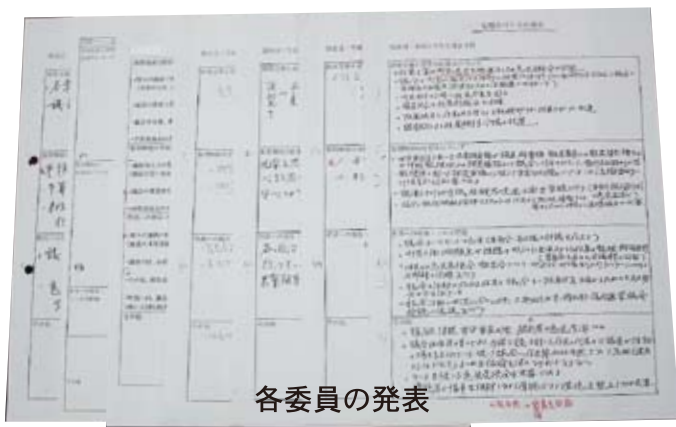
議会の役割である「政策の立案と提言、議会の監視機能、町民への報告、その他」の4項目について、7名の各委員が発表し、仕組みについて協議を行いました。

「平成29年7月26日」

#### 第4回議会改革特別委員会

玖珠町議会基本条例で謳った議会・議員の役割である、  
**① 政策立案と提言**  
**② 議会の監視機能**  
**③ 町民との意見交換会**  
 の3つのテーマについて具体的な仕組みの提案と協議を行い、さらに簡潔にまとめることにしました。

委員会としては、さらに3つのテーマについて検討するため、引き続き継続審査をすることに決しました。



各委員の発表

本委員会は前回定例会において、特別委員会として設置され、第1回委員会を6月23日、議会閉会日に今後の日程と担当割、表紙及び裏表紙について協議しました。表紙については、美山高校を応援する趣旨として、また、裏表紙においても、「U・I・Jターナーの声」を継続することで決定しました。

以後4回の委員会を開催し、校正を重ねて第125号を8月15日に発行しました。

大変充実した内容の研修で、今後の取り組みや編集に活かしていくこととしました。

また、8月22日には本委員会を視察するため、佐賀県吉野ヶ里町議会広報編集委員会が来庁し、議会議だよりの発行に関する内容について説明しました。その後、意見交換を行い、広報広聴の重要性を再認識し、今後にもさらに充実に努めることとしました。

また、7月6日、7日に委員全員で、全国町村議長会主催の広報クリニックへ参加し、議会議だより第124号についてクリニックを受けました。その結果は、  
**① 住民に情報が伝わる紙面か**  
**② 住民視点での編集か**  
**③ 住民視点での紙面表現か**  
 などの観点から解説がありました。





# 委員会 修正案

## 一般会計補正予算の委員会修正案を可決！

平成29年度玖珠町一般会計補正予算（第3号）の歳出（観光費）において、「あそ1962」に関連する車両の台座及び車両搬入の設計費を減額し予算の一部を修正するものです。

### 平成29年度玖珠町一般会計補正予算（第3号）における歳出（観光費）

#### 総務文教民生常任委員会審査

#### 本会議における審議

【事業内容】  
豊後森機関庫へキハ58系気道車（あそ1962）を設置するための設計費を計上するものです。

#### 【主な質疑応答】

問 列車を置く土台の金額や設置費用など詳しい金額は試算できているのか。  
答 今後の設計によって土台や搬入の金額が決まってきます。

【目的】  
豊後森機関庫への新たな魅力向上  
・多目的スペースを活用した情報展開  
・客車を活用した食の展開  
・来客者の休憩所としての活用

問 後日、アスベストについて説明に来ることになっているが、もし許可が下りなかった場合「あそ1962」の活用案は根底から見直すことになるのか。  
答 後日、担当者と協議する中で、アスベスト対策に莫大な費用がかかるということになれば、根底から見直すことも考えられます。

総務文教民生常任委員会より、一般会計補正予算に対する修正案が提出されました。  
執行部からの説明資料によると「車両にアスベストの存在を確認した」との記述がありますが、車両の借用であれば法令上問題がないことや、人体に影響のない整備を施しているとの見解から、アスベストの除去は予算計上されていません。アスベストを含んでいることを知っていながら公共の施設として広く観光客に提供し、食の展開も行っていくことを考えると将来大きな問題に発展する恐れがあり、常識的に考えても受け入れることはできないと考えられます。

機関庫を活用した観光振興やまちづくりは大事なことと思いますが、列車の無償貸与の事業につきましてはアスベストに対する対応等の協議を深め、慎重に審議することが望ましいため、今議会に上程している補正予算内の豊後森機関庫公園に対する委託料のうち「あそ1962」に関連する108万円は減額補正とすることを提案致します。

#### 修正案に対し「全員賛成」

【運営形態】  
指定管理者による管理運営

【予算内訳】  
・キハ58用展示台設計  
・仮軌道路線設計

原案に対し委員より修正案が提出され審査の結果、修正案に対し全会一致で可決すべきものと決しました。

【委託料】  
・108万円

【今後の予定】  
・展示台設置工事、仮軌道路線設置工事  
・車体の外装塗装  
・足回りの補修  
・車両引き込み費用  
・内装整備

小さな子どもからお年寄りまで多くの方が利用する建物であることを考えると、借用だからアスベストの除去はしなくても良いという判断にはならないと考えます。



設置予定地



繁田 弘司

「玖珠町の防災体制について!!」

問い

防災無線の更改期を迎えているが、経過はどうなっているか伺う。

答え（藤原環境防災課長兼基地対策室長）

平成29年11月に無線局の免許を更新し、平成34年11月まで現行システムにて運用する計画ですが、平成34年12月以降は現行システムが運用できなくなるため、デジタル化に向け整備を進めていきたいと考えています。

問い

消防、地域消防団、警察、自衛隊との共同訓練は実施できているのか。

答え（藤原環境防災課長兼基地対策室長）

玖珠郡の合同防災訓練を2年に1度開催しており、本年6月9日には第17回玖珠郡合同防災訓練を開催したところです。訓練には防



災に関係する21機関が参加し孤立集落の情報収集や救助、転倒家屋や埋没車両から負傷者の救出など実践訓練を行っています。今後住民の安全・安心の確保に向け、迅速な対応に努め、関連機関と連携しながら共同訓練に取り組んでいきたいと考えています。

里道、水路の維持管理について!!

問い

国から町に権限移譲された里道の維持管理や改修に伴う費用を予算化する考えはないのか伺う。

答え（梅木建設水道課長）

生活に密接した町道以外の道路については、地元施工になります。が原材料の支給を行っており、引き続き行いたいと考えております。また、農林業振興課においても、原材料の支給や国の補助事業に対する予算措置を行っています。



石井 龍文

農林業支援対策について!!

問い

高齢化に伴い、農業現場の維持管理が難しくなっております。そこで、農道・水路等の維持管理についてどのような支援策を行っているのか伺う。

答え（藤林農林業振興課長）

中山間地総合整備事業で排水整備1,027m、暗渠排水51・1haや農業水利施設保全合理化で町内の基幹水路改修の計画があります。また、玖珠町土地改良区が実施している水路整備への補助や農道について資材支給等を行い、適切な維持管理を図っております。

問い

高齢化に伴い、担い手不足の対策について伺う。

答え（藤林農林業振興課長）

- ① 農地の集積
- ② 農業用機械、施設の整備補助
- ③ 各種制度資金や金利負担の軽減補助
- ④ 新規就農者向けの雇用事業
- ⑤ 経営所得安定対策への加入

など多くの支援策で認定農業者や新規就農者の育成確保に取り組んでいます。

答え（藤林農林業振興課長）

認定農業者と同様に土地利用型農業の主要な担い手として、既存組織の育成支援と組織の法人化を推進しており、現在町内17組織、内11組織が法人化しています。具体的な支援策として、

- ① 新規品目の導入支援（参考／大麦、ハトムギ、ハボタン、黒豆、枝豆など）
- ② 営業外利益の取り組み支援（参考／水田活用による直接支払交付金など）
- ③ 法人間連携事業の取り組み支援
- ④ 規模拡大支援（参考／農地の集積や作業受託拡大支援）
- ⑤ 畦畔管理省力化対策（参考／センチピードグラスの普及支援）

今後においても、新規の集落営農組織の立ち上げに積極的に取り組んでいきます。

その他の質問

一、農産物販売支援策について  
一、空き家対策について。荒廃住宅問題



秦 時雄

### 精神障がい者通院助成手当の 拡充について!!

問

本町は県内市町村に先駆けて、精神障がい者通院助成手当が支給されている。この目的は在宅で生活を送る精神障がい者に通院助成手当を支給することにより、デイケアの促進、外出の促進、引いては社会参加を図ることが病気の進行を防ぐ大きな役割と目的がある。また、精神障がい者は経済的、精神的負担などを家庭によって支えられている。現行制度では一級が一萬二千元、二級・三級が六千元となっているが、各級も一級と同額に拡充することが望ましい。考えを伺う。

答え (本松福祉保健課長)

精神障がいの一級は、重度心身障がい者であり、通院する頻度も多いと思われるため、金額に差を設けています。金額の変更は現時点では考えていません。

### 精神障がい者相談員の設置に ついて!!

問

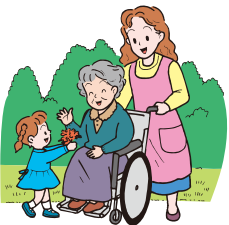
本町は、身体・知的障がい者に対して相談員が設置されているが、精神障がい者相談員が設置をされていない。早急に取り組んでもらいたい。考えを伺う。

答え (本松福祉保健課長)

「玖珠町障がい者相談員設置要綱」では、原則として障がい者本人及び保護者の内から適当と認められる者を選ぶ、となっていますが、該当される方の内諾、承諾が得られないため設置できない状況です。

その他の質問

- 一、改正住宅セーフティネット法について  
(平成29年4月19日成立)
- 一、無年金者救済法について  
(平成29年8月1日施行)



小幡 幸範

### 防災対応について!!

問

本町の災害対策本部において、災害情報を速やかに発信するような体制はとれているのか伺う。

答え (藤原環境防災課長兼基地対策室長)

8月に土砂災害避難勧告等支援システムの導入を行いましたので、広報担当と連携を図りながら早い段階での情報の発信に努めていきたいと考えています。

### 老朽化した公共の建物について!!

問

平成29年3月に玖珠町公共施設等総合管理計画を策定しているが、どのような計画を策定したのか伺う。

答え (衛藤まちづくり推進課総合戦略室長)

2017年から2046年までを計画期間とし、行政サービスの水準維持及び公共施設等の安全性の確保、健全な財政運営の実現に向けて、今後の公共施設等の管理運営の方向性を明確にした計画となります。

問

住民への情報提供を実施していく考えはあるのか伺う。

答え (衛藤まちづくり推進課総合戦略室長)

各地区にて計画の説明会を検討していきます。

問

計画によると町の保有する公共施設は248施設あり、そのうちの半数近くが築後30年を経過していますが、この先どのような財政運営を考えているのか伺う。

答え (麻生総務課長)

施設の長寿命化に向け改修費や維持管理費について、効率的な予算執行に努めながら基金設置の可能性を検討していきたいと考えています。

その他の質問

- 一、第5次総合計画について



ヤトカコーヒー

山本 雄一  
千春  
住所：玖珠町大字岩室35-14  
電話：77-2035



【玖珠町に住んで思うこと】

2014年5月、長男が「おつきいおばあちゃんに会いに行きたい」と言い出したことなきっかけで玖珠町への訪問を考えるようになりました。私たち夫婦は会社員でしたので、主人は休暇が取れず、母と子ども2人を連れてお盆に訪れたのですが、豊後森駅が素敵な駅舎に様変わりし、機関庫も整備され、通りに行き交う車や観光バスにびびくりしたのを覚えています。祖母宅の2階の窓から切伐山を眺めていたとき「ここで美味しいコーヒーが飲めたら最高！」と思い、コーヒー屋を開こうと決心しました。それからは、まず主人を説得し、両親、会社と少しずつ時間をかけて思いを伝え「やるなら自分たちが納得のいく店にしたい！」と、会社帰りにコーヒーセミナーに通い、近所のコーヒー専門店でいろいろな豆を購入しては自宅で腕を磨いてきました。その後、2016年7月に玖珠町へ移住、祖母宅の一部を改装し、「ヤトカコーヒー」をオープンしました。幼少の頃しか住んでいない玖珠町ですが、切伐山と機関庫としてご先祖様に帰っておいでと呼ばれたような気がします。

【玖珠町に望むこと】

大げさかもしれませんが、小さい町だからこそ「ここはこうしたいの良いと思う」といった自分自身の考えをタイレクトに伝えることが大切だと思います。自分の考えとは違う意見を聞くことで良いアイデアが出てきたり、町に対する様々な主張を聞くことで町に興味を持つ人がもっと増えると思

います。一人で考えるより、二人、三人・・・と気の合う仲間とおしゃべりをするだけですっきりしたり、良い考えが浮かんだりという経験は誰にでもあると思います。そうやって、楽しく町民が主役の玖珠町を作って行けたら、町外から見ても魅力ある町に発展すると思います。

【今後の抱負】

玖珠町には二つ三つと手に職を持った先輩方がたくさんいます。自分たちは玖珠町に移住して一年が経ち、やっと玖珠町の雰囲気にも慣れてきました。これから困ったときは先輩方に相談し、知恵を拝借し、活気あふれる玖珠町を目指していきたいと考えています。そして、子どもたちに私たちの働き方を魅せ、一旦は町外へ出て、色々なことを吸収してやっぱり玖珠町に戻ってきたいなと思えるように努めていきたいです。また、自然栽培や有機農法、自然に感謝しつつ自然を壊さないように繋げる生産者さん方を応援していきたいと思っています。



9月議会の傍聴者数は、32人です。議会の傍聴におこしください。次回の定例会は12月です。

「議会広報特別委員会」

- 委員長 宿利 忠明
- 編集長 松本真由美
- 委員 中尾 拓
- 委員 大野 元秀
- 委員 小幡 幸範
- 委員 松下 善法
- 委員 廣澤 俊幸

編集後記

全国和牛共進会（仙台）  
大分県堂々全国3位  
県畜産共進会（別府）  
玖珠豊後牛上位入賞  
未来を担う後継者を応援しています！